

2026年度 プロジェクトチーム活動支援テーマ応募提案書

■ 提案者の概要

| | | |
|---------|---------------|-------|
| 企業名/団体名 | A 株式会社 | |
| 担当者 | 氏名 | 産業 太郎 |
| | 所属 | 〇〇部 |
| | 役職名 | 〇〇 |
| 電話番号 | 000-0000-0000 | |
| E-mail | xx@xx.jp | |

■ テーマ名称および概要

| | |
|-------|--|
| テーマ名称 | 試作品「〇〇」の製品化について |
| テーマ概要 | 開発中の試作品「〇〇」について、ユーザー等にトライアル使用してもらい、製品化に向けての課題収集や意見交換を実施する。 |

■ テーマ提案内容

(内容について、分かり易く理解できる写真や図表等があれば添付・貼付してください)

(1) 活動の背景・目標 (応募に至った経緯、活動のねらい、社会への波及効果等)

当社はこれまで、～や～などの製造を行ってきた。
今後、△△業界では、××が予測されるため、▲▲が課題となる。
そこで、▲▲の解決策として、試作品「〇〇」を開発している。
本プロジェクトチーム活動では、実際に△△業界のユーザー企業に試作品「〇〇」を使用してもらい、課題や意見を収集し、製品化・改良に向けての参考としたい。

(2) 内容・課題

(プロジェクトチームで扱う製品や想定する活用モデル等について具体的に記載)

試作品「〇〇」は、～が従来の製品とは違い、××の場面で活用できる仕様となっている。
また、●●の作業を容易に行うことが可能であり、□□に優れた製品となっている。
試作品「〇〇」の△△での活用については、・・・の点で課題があり、ユーザー企業の意見を収集し、改良を行いたい。

(3) 進め方（チームミーティングの内容等）

1 回目のチームミーティングでは、試作品「〇〇」をトライアル利用してもらうユーザー企業に、製品の説明を行う。

その後、トライアルで使用してもらい、2 回目のチームミーティングでは、ユーザー企業から、実際に使用してみたの意見や課題を発表してもらう。

3 回目のチームミーティングでは、ユーザー企業からの意見を踏まえた改良案を提示し、意見交換を実施する。

(4) 想定メンバーとその役割

※想定メンバーには、業種等を記載。コンタクトをとっている場合は企業名を記載。

| 想定メンバー | 期待する役割など |
|-------------|--------------------------------------|
| △△業界のユーザー企業 | 試作品「〇〇」をトライアル使用してもらい、意見や課題を収集する。 |
| ●●株式会社 | △△業界のユーザー企業であり、試作品「〇〇」について活用を検討している。 |
| | |
| | |
| | |

※行が足りない場合は適宜追加ください。

(5) 事務局に期待する支援

【事務局の支援可能な内容】「参加メンバー集め」「プロジェクト運営の補助（会場設営・調整・ミーティング運営の支援）」「アドバイザーによる助言」等

試作品「〇〇」をトライアル使用してもらえるユーザー企業のメンバー集めを支援してほしい。

課題収集や意見交換の場面では、多くの意見を聴取できるように、議論のファシリテートを支援してほしい。

◆ 提出・問合せ先 ◆

あいちロボット産業クラスター推進協議会事務局
愛知県 経済産業局 産業部 産業振興課 ロボット産業グループ
担当：塚本、花井

電話：052-954-6352 E-mail：sangyoshinko@pref.aichi.lg.jp